

北海道立総合研究機構  
農業試験場報告

第 132 号

---

ネギ葉枯病の発生生態  
と防除に関する研究

---

平成 24 年 10 月

北海道立総合研究機構 農業研究本部  
道南農業試験場

# ネギ葉枯病の発生生態と防除に関する研究\*

博士(農学) 三澤知央\*\*

## 目 次

第 1 章. 緒言	1
第 2 章. 研究史	3
第 3 章. 発生実態と被害	5
第 1 節. 北海道における発生実態	5
第 2 節. 褐色楕円形病斑および黄色斑紋症状の発生推移と他病害発生との関係	7
第 3 節. 発病と被害	14
第 1 項. 葉位と発病	14
第 2 項. 全葉発病と出荷葉発病	15
第 3 項. 収穫後の発病の進展	16
第 4 項. 発病と収量	17
第 4 節. 考察	17
第 4 章. 病原菌の同定と病原性	20
第 1 節. 分離菌の形態	20
第 2 節. 分離菌のネギ各葉位に対する病原性と病徴	23
第 3 節. 葉枯病菌の菌種構成	23
第 4 節. 考察	24
第 5 章. 葉枯病菌の諸性質	27
第 1 節. 宿主範囲	27
第 2 節. 生育適温	27
第 3 節. 各温度条件における孢子形成量	28
第 4 節. 考察	28
第 6 章. 葉枯病菌の感染・発病条件と伝染環	30
第 1 節. 感染・発病条件	30
第 1 項. 接種温度および検定植物の生育ステージが病斑形成に与える影響	30
第 2 項. 濡れ時間と発病	30
第 3 項. 接種葉位と発病	31

第 4 項. 接種方法と発病	32
第 5 項. 考察	32
第 2 節. 葉枯病菌の伝染環	33
第 1 項. 胞子飛散消長と発病の関係	33
第 2 項. 偽子のう殻の発達	39
第 3 項. 越冬期間中の菌の分離率と病原性	41
第 4 項. 考察	42
第 7 章. 防除対策	45
第 1 節. 薬剤防除対策	45
第 1 項. 各種薬剤の防除効果	45
第 2 項. 薬剤散布体系の検討	49
1. 8 月どり作型	49
2. 9 月どり作型	54
3. 10 月どり作型	58
第 3 項. 考察	63
第 2 節. 耕種的防除対策	66
第 1 項. 品種間の発病差異	66
第 2 項. 施肥量および土壌 pH と発病の関係	67
第 3 項. 考察	69
第 8 章. 総合考察	71
引用文献	76
摘要	80
Summary	82
図版説明	85
図版	86

\*北海道大学審査学位論文

\*\*北海道立総合研究機構 農業研究本部 道南農業試験場

(041-1201 北海道北斗市本町 680)